

○平成29年10月23日～25日 総合防災対策特別委員会の県外行政視察を行いました。

総合防災対策特別委員会では、「災害時の防災関係機関との連携について」及び「地震・津波対策とため池の防災対策について」を調査事項として、鹿児島県及び熊本県内において計4カ所の視察を行い、事業概要について説明を受けるとともに、質疑を行いました。

番号	視察箇所	場所	調査内容
①	鹿児島港	鹿児島県 鹿児島市	離島航路の拠点機能や防災機能の強化を目的として進められている耐震強化岸壁の整備状況について説明を受けた後、耐震強化岸壁の視察を行い、耐震強化工事の内容や離島航路の利用者数等について質疑を行いました。
②	鶴田ダム	鹿児島県 薩摩郡 さつま町	平成18年7月の九州北部豪雨を受けて洪水調節容量を1.3倍に拡張するダムの再開発事業について説明を受けた後、ダムの操作室、内部、堤頂等の視察を行い、再開発事業に伴う堤体の強度への影響等について質疑を行いました。
③	鏡ヶ鼻ため池	熊本県 宇城市 豊野町	平成28年4月の熊本地震による県内ため池の被災状況とその後の整備状況について説明を受けた後、発災時に堤体に縦断亀裂が見られた鏡ヶ鼻ため池の視察を行い、小規模ため池の耐震化工事の状況や活用されていないため池の廃止等の状況について質疑を行いました。
④	熊本県庁	熊本県 熊本市	熊本地震に対応して得られた教訓について説明を受けた後、指揮台や各種地図、初動用ホワイトボード等防災センター内の設備の配備状況について視察を行い、予防的避難の開始時期や住民自らの自主的な避難所運営の重要性等について質疑を行いました。



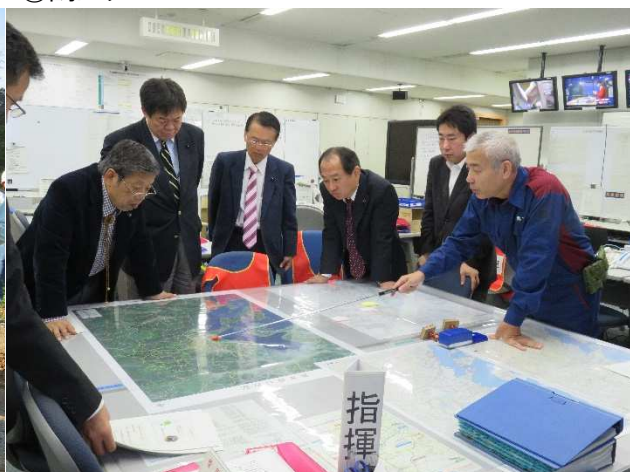
①鹿児島港



②鶴田ダム



③鏡ヶ鼻ため池



④熊本県庁